

# 諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成23年 4月

(平成23年 3月末調査)

平成23年 4月26日  
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫**  
**経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

|                             |               | 実 数         | 前年同期比     |
|-----------------------------|---------------|-------------|-----------|
| 有効求人倍率【 2月】                 | 諏訪公共職業安定所管内   | 0.66倍       | +0.18ポイント |
| 手形交換高【 3月】<br>(諏訪手形交換所扱)    | 枚 数           | 7,748枚      | △2,159枚   |
|                             | 金 額           | 9,544百万円    | △2,322百万円 |
|                             | うち不渡り<br>発生状況 | 枚 数         | 8枚        |
|                             | 金 額           | 8,703千円     | △5,931千円  |
| 電力使用量【 3月】<br>(中電諏訪営業所管内)   | 電灯電力計         | 67,498 MWh  | +6.4%     |
|                             | 高压電力計         | 106,420 MWh | +5.1%     |
|                             | 合 計           | 173,918 MWh | +5.6%     |
| 車庫証明取扱件数【 3月】(諏訪地方合計)       |               | 1,509件      | △11.7%    |
| 新設住宅着工戸数【H22.4~H23.2】(諏訪管内) |               | 899戸        | △14.8%    |

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

### ●製造業

自動車関連の下請企業は、完成車メーカーのライン停止の影響から部品の出荷も停滞しており生産水準は大幅に落ち込んでいる。工作機械や専用機では震災前の受注により足元の生産水準には大きな変化はないが、今後の新規受注の減少が危惧されている。デジタル一眼レフ関連の下請企業では、被災地からの代替生産で4月以降は受注の増加が見込まれている。

3月11日の東日本大震災によるサプライチェーンの寸断が親会社への出荷停止や原材料、部品の調達不足につながるなど、震災の余波による混乱は諏訪地域の企業にも多大な影響を及ぼしている。なお、一部で被災地からの代替生産品のスポット受注で生産水準が高まっている企業もあるが、受注のキャンセル等を受けている企業が多く先行きの不透明感が強まっている。

### ●商業

東日本大震災の直後には各種の品物で「買いだめ」の動きがあり、食料品では飲料水、カップ麺、レトルト食品などが品不足となる店舗が多かった。また、家電店ではラジオや乾電池、ホームセンターでも防災用品やトイレトペーパーなどが欠品した。

また、自動車販売では諏訪地方の3月の車庫証明件数(軽自動車除く)は1,509台で前年同月比△200台(△11.7%)の減少となったが、完成車メーカーの操業停止から新車の納車の時期が不確定となっており4月以降はさらに減少幅が拡大する見込みである。

非常時のため、生活必需品や防災用品を買い求める一方、不急の消費である高額品やファッション衣料の動きは弱含んでいる。

## ●観光業

震災以降は、他県の観光地と同様に諏訪地域への入り込み客数も大幅に減少した。各ホテル・旅館では団体客を中心にキャンセルが相次ぎ、宿泊客数は前年に比べ30～60%もの大幅な減少となった。また、歓送迎会や謝恩会なども軒並みキャンセルとなり、飲食業を含め厳しい状況となっている。なお、諏訪大社の3月の参拝者数は約26千人で、昨年より約15千人の大幅な減少となった。震災の影響と昨年同月は御柱祭の直前で参拝客数が例年より増加していたことも減少の理由である。

一部に修学旅行の代替地としての動きがみられるが、ゴールデンウィークの予約状況は低調であり、首都圏の計画停電やガソリン価格の高騰、自粛ムード等が夏の観光シーズンにどの程度の影響を及ぼすか予断を許さない状況となっている。

## ●建設業

市町村の3月の発注工事は、建築工事17件1,920百万円、土木工事・下水道工事23件209百万円、その他工事16件77百万円の合計56件2,207百万円で、前年同月比で件数は△21件減少したものの茅野市内で中学校の改築工事があったことから契約金額は+1,567百万円の増加となった。県関係の3月の公共工事（地元業者受注分）は34件1,537百万円で、平成22年4月～平成23年3月（平成22年度）の累計契約は226件5,545百万円と前年度比で件数は△2件減少、契約金額は△973百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は56戸と前年同月比+4戸（+7.7%）の増加となった。なお、平成22年4月～平成23年2月の年度累計は899戸で前年同期累計比では△156戸（△14.8%）の減少となっている。

なお、震災の影響でサッシやベニヤ板などの建材の一部が品薄になっており、工期の遅れなどが危惧されている。また、別荘需要の増加や別荘の改築などの動きもみられる。

## ●雇用

諏訪地域の2月の有効求人倍率は、前年同月を0.18ポイント上回り0.66倍と前年同月を11ヶ月連続で上回っているものの依然として低水準で推移している。また、全国と同倍率は0.62倍、長野県と同倍率は0.68倍となっている。

諏訪地域の2月の新規求人（全数）は1,281人で前年同月比+197人（+18.2%）の増加、新規求職者数は1,149人で前年同月比+35人（+3.1%）の増加となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、医療・福祉業及びサービス業で増加している。

2月の1件10人以上の人員整理は1件58人、事業主都合による雇用保険資格喪失者は72人で前年同月より△8人減少、前月より+20人増加した。

なお、震災の影響によりキャンセルが相次いでいるホテル・旅館や観光施設では従業員の自宅待機が実施されており、製造業でも受注が急減した企業では4勤3休などの対応がみられる。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

|            |   |
|------------|---|
| プリント基板     | 足元の生産は堅調であるが、材料調達等を懸念する声もきかれる。LED照明等の省エネ家電向けで需要の増加が見込まれている。 |
| コンデンサー     | 受注は弱含みで推移している。  |
| プリンター      | 下請企業の受注は比較的堅調に推移している。                                       |
| コンタクター・リレー | 受注は堅調に推移しているが、震災の影響による部品や原材料の調達不足がきかれる。                     |

### 2. 輸送用機械

|                   |   |
|-------------------|---|
| 自動車               | 完成車メーカーのライン停止から部品の出荷も停滞しており、地域企業の生産水準は大幅に落ち込んでいる。 |
| ピストンリング・シリンダーライナー | 国内向けの多くは納品がストップしているものの、海外向けは堅調である。                |
| 船外機               | 受注は堅調であるも、震災の影響による部品の調達不足がきかれる。                   |

### 3. 一般機械

|          |  |
|----------|--|
| 工作機械・専用機 | 震災前の受注により足元の生産水準には大きな変化はないが、今後の新規受注の減少が危惧されている。                |
| 搬送用機械    | 食品関連向けの受注は安定しているものの、震災の影響による受注のキャンセルもみられる。                     |
| 金型       | 受注は弱含んでおり、先行き不透明感がきかれる。  |
| ダイカスト    | 自動車関連向けの受注は一時的にストップしている。また、亜鉛の製錬所が震災の被害を受けており、素材の供給不足が懸念されている。 |

### 4. カメラ・レンズ

|         |  |
|---------|--|
| デジタルカメラ | 全国のデジタルスチルカメラの2月の生産台数は738万台で前月比+22.4%増加、前年同月比+1.5%増加となっている。2月の出荷台数は国内出荷90万台、海外出荷627万台の合計718万台で出荷台数全体では前月比+15.7%増加、前年同月比△0.4%減少となっている。デジタル一眼レフ関連の下請企業では、被災地からの代替生産で4月以降は受注の増加が見込まれている |
| レンズ     | 中国のレアアース輸出規制により研磨剤の価格が高騰しており、収益への影響がきかれる。  |

## 5. 織 維

ニット

震災による消費マインドの落ち込みから高級品を中心に店頭での売れ行きが弱まっており、夏物の受注も小ロット傾向が続いている。

## 6. 食 品

寒天

首都圏のスーパー向けでは弱含み感がきかれる。

味噌

震災の影響から即席みそ汁の需要が高まっており、生産を増強する企業がみられる。

## 7. 製 材

諏訪地方の2月の木造住宅着工戸数は41戸で、前年同月に比べ△8戸の減少となった。なお、震災の影響でサッシやベニヤ板などの建材の一部が品薄になっている。

## 8. 建 設

公共工事

3月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所27件、林道治山工事関係2件、農地整備課1件、その他土木工事4件の合計34件、契約金額1,537百万円となった。また、平成22年4月～平成23年3月（平成22年度）の累計契約は226件5,545百万円と前年度比で件数は△2件減少、契約金額は△973百万円の減少となった。市町村の3月の発注工事は、建築工事17件1,920百万円、土木工事・下水道工事23件209百万円、その他工事16件77百万円の合計56件2,207百万円で、前年同月比で件数は△21件減少したものの茅野市内で中学校の改築工事があったことから契約金額は+1,567百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は56戸で前年同月比では+4戸（+7.7%）の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は+23戸増加の52戸、「貸家」は△18戸減少の2戸、「分譲」は△1戸減少の2戸となった。また、平成22年4月～平成23年2月の年度累計は899戸で前年同月累計に比べ△156戸（△14.8%）の減少となっている。

また、長野県内の2月の新設住宅着工戸数は646戸で、前年同月比+0.5%の増加となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が434戸で+26.5%増加、「貸家」が131戸で△35.8%減少、「分譲」が81戸で+1.3%増加となった。

## 9. 商 業

東日本大震災の直後の「買いだめ」の動きにより、飲料水、カップ麺、トイレットペーパー、乾電池、ガスボンベなどは品不足となり買い上げ点数の規制等が行われた。また、自動車販売では、震災による完成車メーカーの操業停止から新車の納車の時期が不確定であり4月以降の減少幅はより広がる見込みである。非常時のため、生活必需品や防災用品を買い求める一方、不急の消費である高額品やファッション衣料の動きは弱含んでいる。

|         |  |
|---------|--|
| 衣料      | 新入学の衣料等は平年並みの動きであるが、ファッション衣料の動きは低調であった。  |
| 食料品     | 震災直後は、飲料水、カップ麺、レトルト食品などの「買いだめ」の動きや物流の寸断から品不足となる店舗が多かった。納豆や乳製品などの品薄状態は続いており、葉物野菜では値上がりの傾向がある。       |
| 家電製品    | ラジオや乾電池は欠品となった。なお、家電エコポイントが3月末にて終了した。  |
| 自動車     | 諏訪地方の3月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,509台で前年同月比△200台（△11.7%）の減少となった。自動車メーカーの操業停止から納車が遅れており、4月以降はさらに減少する見込みである。 |
| ホームセンター | 防災用品やトイレットペーパーなどは品不足となった。  |

## 10. 観 光

震災以降は、他県の観光地と同様に諏訪地域への入り込み客数も大幅に減少した。各ホテル・旅館では団体客を中心にキャンセルが相次ぎ、宿泊客数は前年に比べ30～60%もの大幅な減少となった。また、歓送迎会や謝恩会なども軒並みキャンセルとなり、飲食業を含め厳しい状況となっている。

一部に修学旅行の代替地としての動きがみられるが、ゴールデンウィークの予約状況は低調であり、首都圏の計画停電やガソリン価格の高騰、自粛ムード等が夏の観光シーズンにどの程度の影響を及ぼすか予断を許さない状況となっている。

|           |  |
|-----------|--|
| 上諏訪温泉     | 団体客を中心にキャンセルが相次ぎ、各ホテル旅館とも昨年に比べ宿泊客数は大幅に減少している。また、歓送迎会や謝恩会も軒並みキャンセルとなった。                     |
| 蓼科・白樺湖・車山 | 高原の観光地への入り込み客数は、震災以降急減した。  |
| 下諏訪温泉     | 前年同月比の宿泊客数は大幅に減少している。宿泊料や宴会料の一部を被災地に送る「義援金プラン」等の支援企画が行われている。                               |
| 諏訪大社      | 上社・下社合わせた3月の参拝者数は約26千人で、昨年に比べ約15千人の大幅な減少となった。震災の影響と昨年同月は御柱祭の直前で参拝客数が例年より増加していたことも減少の理由である。 |

